

H19 「知的交流フェロースhip(中東グループ招へい)」プログラム	
テーマ	社会・開発・環境
アドバイザー	アジア経済研究所研究支援部部長 佐藤寛氏
参加者および出身国	<p>Israa Adel EL HOSIENY/エジプト</p> <p>Mina MEHRNOUSH /イラン</p> <p>Mohammad AVATEFI/イラン</p> <p>Faisal Mohsen NASER ALI/クウェート</p> <p>Nizar Nabih ABOU JAOUDE/レバノン</p> <p>Shadad Masoud AL MUSALMI/オマーン</p> <p>Ziad Saleh QANNAM/パレスチナ</p> <p>Mehmet YUVA/シリア</p> <p>Rasheed ABDUL HADI/シリア</p> <p>Mitat CELIKPALA/トルコ</p> <p>Fatima Ahmed AL YOUSEFI/イエメン</p>
期間	22 日間(2007/10/28 ~ 2007/11/18)
講義	<p>日本の政治における構造と変化 (早稲田大学政治経済学部教授兼教務部長 田中愛治氏)</p> <p>日本の教育経験と教育開発 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授 黒田一雄氏)</p> <p>開発とジェンダー (東京大学社会科学研究所教授 大沢真理氏)</p> <p>日本の公害対策・環境問題 (法政大学人間環境学部教授 藤倉良氏)</p> <p>日本の貧困削減 (アジア経済研究所研究支援部部長 佐藤寛氏)</p> <p>日本社会の諸相 (東京工業大学大学院社会理工学研究科教授 橋爪大三郎氏)</p> <p>広島と平和 (広島市立大学広島平和研究所教授 水本和実氏)</p>
視察など	<p>&lt; 大学など &gt;</p> <p>京都大学小杉泰教授のゼミ、神戸大学(大学院生とワークショップ)</p> <p>&lt; 文化・歴史・宗教など &gt;</p> <p>江戸深川資料館、東大寺(森本長老の講和)、広島平和記念資料館/原爆ドーム (視察および被爆講話)、しまなみ海道、厳島神社</p> <p>&lt; 企業や地域・自治体の取り組みなど &gt;</p> <p>日産車体湘南工場、日本電産、人と防災未来センター、港清掃工場、中防埋立て</p>

	処分場、上勝町、四国タオル工業組合、株式会社オリム
個人研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「トルコにおける環境と開発」 (Mitat CELIKPALA)</li> <li>・ 「日本の環境保護および環境への人的影響」 (Shadad Masoud AL MUSALMI)</li> <li>・ 「環境を持続可能的に取り扱う農村コミュニティの慣習」 (Mohammad AVATEFI)</li> <li>・ 「ジェンダーと環境的に持続可能な開発」 (Fatima Ahmed AL YOUSEFI)</li> <li>・ 「伝統的環境と現代化のはざまでの社会開発」 (Nizar Nabih ABOU JAOUDE)</li> <li>・ 「日本の社会・開発・環境」 (Faisal Mohsen NASER ALI)</li> <li>・ 「日本：シリアのロールモデル？歴史的観点からのシリア・日本関係」 (Mehmet YUVA)</li> <li>・ 「農村の持続可能な開発に関する大学院カリキュラムの再検証と整備」 (Ziad Saleh QANNAM)</li> <li>・ 「教育と開発 ダマスкас大学における大規模教室」 (Rasheed ABDUL HADI)</li> <li>・ 「持続可能な開発を進めるための教育の役割：日本の例を参考に」 (Israa Adel EL HOSIENY)</li> <li>・ 「日本における知識主義経済 イランにとっての基準として」 (Mina MEHRNOUSH)</li> </ul>